



第2570地区

行田さくらロータリークラブ週報

国際ロータリー第2570地区ガバナーテーマ

「Let's make fellows!」「友達をつくろう」

ガバナー 相原茂吉

会長方針

ロータリーを面白くしよう、
そして楽しもう。

会長 長谷川 博

博 郎 司 浩 孝 敏 宏
 敬 一 里 由 昭 明
 川 木 瀬 岡 辺 沢 村
 谷 長 鈴 梁 松 渡 金 田
 長 事 集
 会 幹 編

5-10 行 田 市 行 田 市 行 田 市
 3F スリーハートビル
 番 3000
 火 曜 日 12:30 ~ 13:30
 ホ テ ル ガー デ ン パ レ ス
 熊 谷 市 佐 谷 区 3248 番 地
 048 (525) 7777 番

事 務 局
 電 話
 例 会 日 時
 例 会 場
 電 話

URL <http://www.gyoda-sakura.jp>
 印 刷 : マ ツ オ カ 印 刷 株 式 会 社

第 2203 回（10 月 6 日）例会報告

* 点 鐘 長谷川 博 会長

* 来訪者紹介

国際ロータリー第2570地区

第5グループ ガバナー補佐 田代充雄 様

* 会長報告 長谷川 博 会長

* 幹事報告 鈴木敬一郎 幹事

* 感謝状授与

米山記念奨学会より感謝状 島崎義春 会員

*出席状況報告

*ニコニコ報告 長島 豊 委員長

* 卓話

(卓話者紹介 長谷川 博 会長)

国際ロータリー第2570地区

第5グループ ガバナー補佐 田代充雄 様

*謝辞 長谷川 博 会長

*点 鐘 長谷川 博 会長

会長報告



長谷川 博 会長

コロナ感染拡大下のプラス面

前回、人類とペスト、天然痘、スペイン風邪との戦いの話をしましたが、今回の新型コロナウイルスの感染の対策はこれに通じるものがあると思います。ネガティブな報道は連日報道されていますが、こういった時に改善を繰り返してきたのが人類の歴史であり、成果です。良い影響にもしっかり目を止めていきましょう。衛生意識の向上とインフルエンザ発生の低下は手洗いの徹底が原因です。

「空気が綺麗に、自然が回復」コロナにより工場や物流、車の量が減少しました。その結果、大気汚染があった地域で素晴らしい青空が見られました。結果、大気汚染問題の解決に近づいたかもしれません。町中から多くのごみが消えました。環境問題にとっても良い結果が多数でています。

「テレワークの推進」日本のビジネスマンは時間をかけて面談で商談をしていましたが、今後、大多数の商談はWEB商談で足りてしまうでしょう。自宅で育児、介護をしていた人を企業で採用することも出来るようになります。地方活性化、東京への一極集中の軽減、人材活用の点でもプラスの影響が出るはずです。

「福祉、医療制度の見直し」今回のコロナの流行により各国の医療制度の差が浮き彫りになりました。日本では、多少の不満はでておりますが、国際的にみてもかなりの水準という事が浮き彫りにされました。今後さらに遠隔医療なども行われるようになるはずです。SDG s をさらに広げる良いきっかけになる可能性が高いと思います。この言葉の意味するのは、すべての人に健康と福祉を、という意味も含まれています。

「貧困をなくそう。人、国の不平等をなくそう」人類がコロナ問題を解決できた時、SDG s についても良い影響が及ぶと思います。

幹事報告



鈴木敬一郎 幹事

国際ロータリー第 2570 地区第 5 グループ 田代充雄ガバナー補佐の御来訪を歓迎いたします。本日の卓話よろしくお願いいたします。

幹事報告をさせていただきます。

10 月 13 日第 2204 回例会は、相原ガバナー公式訪問例会に向けてのクラブ協議会です。場所は例会場で 12 時 30 点鐘です。

10 月 20 日第 2205 回例会は、相原茂吉ガバナー公式訪問例会です。クラブ協議会でも時間等の確認をさせていただきますが、場所は例会場で 16 時 00 分点鐘です。会場設営担当の SAA・出席奨励・スマイル各委員会および懇談会に参加される対象者は 15 時、会員の皆様は 15 時 50 分が集合時間になっています。10 月からは例会場で昼食等を提供しますので、SAA の案内の通り感染症予防対策にご協力いただきますようお願いいたします。

出席状況報告

長島 豊 委員

会員数	出席対象者	出席者	メーキャップ	出席率
52 名	48 名	27 名	1 名	58 %

ニコニコ報告

長島 豊 副委員長

長谷川会長 田代ガバナー補佐ご来訪ありがとうございます。卓話楽しみにしています。

鈴木幹事 田代ガバナー補佐のご来訪を歓迎いたします。結婚祝いありがとうございます。

細井パストガバナー 第五グループガバナー補佐田代

充雄様ご来訪ありがとうございます。よろしく願いいたします。

横川会員 先週の真観寺の座禅例会は力強い太鼓の音と中村住職の迫力のある読経に感動しました。ありがとうございました。

井上会員 田代充雄ガバナー補佐、先日の会員増強セミナーでは多くの意見を戴き大変盛り上がりしました。改めて御礼申し上げます。又、本日はガバナー補佐訪問とゆう事でお世話になります。今後共、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。卓話楽しみにしています。

矢澤会員 田代ガバナー補佐ようこそ、ご指導よろしく願いいたします。

新井会員 田代ガバナー補佐のご来訪を歓迎申し上げます。体に気をつけて頑張ってください。ご活躍お祈り申し上げます。

島崎会員 3 年半ぶりに夫婦で出かけました。行先は土浦の「予科練平和記念館」。観桜旅行で以前訪れた、鹿児島島の「知覧特攻平和記念館」と重なりかなり感傷的になってしまいました。「神風特攻隊」で散った世代は日本の若者にとって一番不幸な時代だったかもしれません。ハンカチ 10 枚位用意して行った方がよいよ、鈴木敬一郎。

田中利幸会員 バースデープレゼントありがとうございます。今月 4 歳になります。ハハ、60 代のです。

田島会員 田代ガバナー補佐のご来訪を歓迎いたします。

倉持会員 田代ガバナー補佐のご来訪、歓迎させていただきます。本日はよろしくお願いいたします。

阿部会員 ガバナー補佐田代様、本日の訪問ありがとうございます。卓話楽しみにしています。

五十幡会員 本日は田代ガバナー補佐のご来訪、心から歓迎申し上げます。卓話を通じたご指導よろしくお願いいたします。

大谷会員 田代ガバナー補佐のご来訪歓迎致します。

長島会員 10 月 1 日に双子の孫が生まれました。孫が 5 人になりました。

(田代ガバナー補佐のご来訪を歓迎申し上げます。)
の同文として、神田日出雄、春日雅樹、上原謙一、河

野健人、梁瀬里司、高橋貴子、丑久保紀美、
宮本伸子、江口明、飯塚秀司、松岡由浩、
中村重継 各会員

卓 話



国際ロータリー第2570地区

第5グループ ガバナー補佐 田代充雄 様

ロータリーの二本柱としてロータリアンなら皆、親睦(Fellowship)と奉仕(Service)をあげます。Fellowshipは親睦と訳されておりますが、連帯感とか協調と訳したほうが良いとも言われております。FellowshipとはFellows(志を共有する仲間)の集まり、即ち例会に外ならないと考えます。例会が通常通り開催出来ないという状況にある現在、いかにFellowshipを図っていくのか、第5グループの会長幹事の皆さんと話し合い、新しい方法を見つけて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

本年度相原茂吉ガバナーのテーマは「Let's make fellows!」です。

補佐として共有したいロータリーの基本 職業奉仕

「倫理観をもって職業を行うこと自体が奉仕」とはどういうことなのか、とても分かりづらい。もっと分かりやすい説明ができないものでしょうか。「腑に落ちる」という言葉がありますが、相手が「スッキリと理解し、受け止められるような言い方」でないと訴える力は半減してしまいます。昨年度、鈴木前ガバナーが「ロータリーって何?」と問いかけ、「自分自身の仕事を磨きながら、地域と国際社会に奉仕する団体です。」と答えていますが、誠に「腑に落ちた」名言です。

倫理観のない企業が長く継続することはあり得ませ

ん。企業は社会において必要とされるから存続しているのであり、長く存続すること自体が社会に対しての奉仕です。少し前になりますが大同生命のテレビCMで「長く続いている会社は良い会社です。」というのがありました。世界の長寿企業(創業百年超)の半分以上は日本にあります。日本の企業経営者に対し今更、わざわざ、職業倫理を問う必要はないと考えます。皆創業時から、倫理観をDNAとして身に着けているからです。私は「職業奉仕って何?」と聞かれば「自分の経営する企業を長く継続することです。」と答えます。難しくなく、「腑に落ちる」説明だと思っております。

A.F.シェルドン、渋澤栄一、近江商人の「三方良し」といった昔の理論や格言を持ち出すまでもなく、最近の米国における企業経営理論、即ち「株主資本主義」から「ステークホルダー資本主義」への移行等々、皆「いかに儲けるか」ではなく「いかに継続するか」が重要であると述べております。

企業経営者が集まり、他人の話に耳を傾けるのは企業経営の悩みや、ノウハウそして成功の喜びや達成感を感じ取る為ではないでしょうか。言い換えれば職業奉仕を中心としたロータリークラブでないと、企業人にとって魅力ある団体とは成り得ず、発展もないと考えます。私はロータリアンの集まりにおいては、企業経営の話をよく聞き、よく話すようにしております。補佐としての1年間、私なりの職業奉仕を語っていきたいと思っております。





感謝状



米山記念賞学会より、感謝状

島崎義春会員